

患者様およびその保護者の方へ

当科で黄消化管アレルギーの経過や検査結果について後方視的に調査を行っております。患者様のデータを用いて行いますが、患者個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

研究課題名	当院で経験した FPIES(food protein induced enterocolitis syndrome)について
研究責任者	国保中央病院小児科 中農昌子
研究目的	<p>食物アレルギーには、アレルゲン摂取後 2 時間以内に症状を起こす即時型病型が多くを占めますが、それとは異なり非 IgE 依存性の消化管アレルギー (FPIES : food protein induced enterocolitis syndrome) という病型があり、アレルゲン摂取 3, 4 時間後に消化器症状 (嘔吐や下痢など) のみを認めます。2017 年にアメリカのアレルギー・免疫学会より FPIES のガイドラインが発表されたことでこの病型が広く認識されるようになりました。</p> <p>そこで当院で経験した FPIES 症例をまとめて、その特徴や背景因子を明らかにすることとしました。こうしたまとめが数多く発表されることで、今後のアレルギー診療において有用な情報となり、本疾患を発症した患者さんにとって食生活における QOL の向上につながることを予想されます。</p>
研究概要、 対象となる患者さま	2019. 4 以降、当科で診断・フォローした FPIES 患者さんが対象です。 検査の数値や経過について比較検討します。
本研究の適正性について	<ul style="list-style-type: none">・患者さんのデータは匿名化され、その情報も厳重に保管されますので、個人情報公表されることは一切ありません。また得られたデータを本研究の目的以外に使用することはありません。・なお、本研究は国保中央病院の倫理審査委員会で承認を受け行っており、調査期間は 2022 年 3 月 31 日まで、解析期間は 2022 年 5 月 31 日までです。 情報は研究終了後 5 年間保存し、その後破棄します。・研究の資金源等に関する利益相反はありません。・また、解析結果は小児科、アレルギーに関する学会で発表させていただきますが、患者様の個人情報が公表されることは一切ありませんのでご安心ください。本研究の詳細な資料を閲覧されたい方は下記までお問合せください。
研究への参加辞退をご希望の場合	<p>この研究に関して新たに患者様にさせていただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者様が診療の上で不利な扱いをうけることはありません。</p> <p>本研究について直接おたずねになりたい場合は、下記までお問合せください。</p> <p style="text-align: right;">2022 年 1 月</p> <p>お問合せ先 ; 国保中央病院 小児科 研究責任者 ; 中農昌子 電話番号 ; 0744-32-8800</p>